



令和5年度 基本評価調書		所管部局	企業局	所管課	工業用水道課	
施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備			施策コード	1001	
政策体系(中項目)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造			政策体系コード	2(2)C	
関連重点戦略計画等	北海道強靱化計画					事務事業数
						3
特定分野別計画	北海道企業局経営戦略					
SDGs					総合判定	順調
予算額(千円)	R 5	3,411,605千円	R 4	3,543,429千円	R 3	2,439,715千円

施策目標	新たな受水企業の獲得や既存受水企業の更なる契約水量の増加に努めるとともに、豊富で低廉な工業用水の安定供給による企業立地環境の整備を図る。
現状と課題	<p>(経営基盤の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業構造の変化や水のリサイクル技術の向上等により、経営環境は、今後、一層厳しくなることが予想され、経営基盤の強化に向けては、契約水量の維持拡大を図ることが最も重要な課題で、需要の開拓が必要である。</li> </ul> <p>(工業用水の安定供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽管路の計画的な更新のほか、耐震性の劣るPC管及び塩ビ管の可能な限りの更新の加速化が必要である。</li> <li>耐震診断結果を踏まえて、施設の重要性や劣化度合い等から計画的な施設の強靱化が必要である。</li> </ul>
前年度二次評価意見	
対応状況	

### 〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(経営基盤の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部有識者で構成された「経営懇談会」の意見や提案も踏まえ、各種イベントへの出展や受水企業との意見交換及び定期的な訪問等を実施し、需要拡大に向けて取り組みを推進するとともに、SNSやダムカードを活用した情報発信にも努める。</li> </ul> <p>(工業用水の安定供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>想定される最大規模の地震により施設の健全化が低下する恐れのある幌別ダムの放流設備等の耐震改修、耐用年数超過した耐震性のない配水管の耐震改修を実施する。</li> </ul>
実績と成果	<p>(経営基盤の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R5.6月に石狩湾新港地域に新規進出予定バイオマス発電事業者と供給に向けて事前確認を実施し需要の開拓を推進。</li> <li>R5.3月開催の経営懇談会において、外部有識者より一般道民に向けた広報・PRに関する意見で「ダムカード」について、観光客も想定して配布場所を検討するよう意見があり、R5.6月より登別市内の観光案内所2カ所で配布を開始した。</li> <li>R5.6月に石狩湾新港地域で開催されたイベントで「工水カード」を配布して広報・PRを図った。</li> </ul> <p>(工業用水の安定供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室蘭工水の幌別ダム第一余水吐耐震補強等強靱化工事を実施し施設の耐震化の向上が図られた。</li> <li>苫小牧工水の第二施設幹線(柏原地区)の耐用年数を超過した耐震性のないPC管等を更新及び耐震化のため、配水管布設工事を実施し管路耐震化率の向上が図られた。 (更新管路延長 R3 0.8km, R4 1.7km, R5 1.0km)</li> </ul>
参考HP①	
参考HP②	
参考HP③	

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R11)	達成率	指標判定
契約率		目標値	73.0	73.0	74.0	76.0	106.1%	A
		実績値	75.4	75.6	78.5	—		

**設定理由** 契約水量の一日最大給水能力に対する割合を示す指標で、需要の開拓による収益性及び施設効率性向上の取組の成果を測る指標として設定。

**指標公表時期** 12月 **出典（根拠計画等）** 北海道企業局経営戦略

分析（主な取組と成果）

指標の実績が好調である理由は、カーボンニュートラル実現のため再生可能エネルギー分野への投資が活性化している状況の中、重点分野を定めた営業活動の推進などの需要の開拓によりバイオマス発電事業者を新規獲得した成果が反映された結果である。

指標名②	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R11)	達成率	指標判定
管路耐震化率		目標値	63.0	63.0	64.0	69.0	100.0%	A
		実績値	63.0	63.0	64.0	—		

**設定理由** 配水管路のうち、耐震性のある材質と継手により構成された管路延長の総延長に対する割合を表す指標であり、管路の耐震性向上の取組の成果を測る指標として設定。

**指標公表時期** 12月、3月 **出典（根拠計画等）** 北海道企業局経営戦略、北海道強靱化計画

分析（主な取組と成果）

計画通りに費用の平準化を図りながら、耐震性が劣るPC管の更新を実施し、耐震性の向上が図れた。

指標名③			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業立地が進んでいない石狩湾新港地域を中心に、企業誘致部門である経済部や関係機関で新規企業獲得に向けた効果的な営業活動などの取組を一層進めていく必要がある。</li> </ul>
	<p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済部、建設部及び関係機関で構成する「令和4年度 工業用水需要開拓促進連絡会議」をR4.6.2に開催し、企業誘致に関する情報共有を図ったことなどにより、効果的な営業活動を図りR5.10.2からの新規企業獲得した。</li> </ul>
緊急性 優先性	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低廉豊富な工業用水の供給には、経産省の工業用水事業費補助金が不可欠であるが、R4.1月に補助金交付要綱の改正が実施され、R4年度以降は老朽化対策事業が補助対象外となり、給水開始から50年以上経過した室蘭工水や苫小牧工水では老朽化が進行しており、将来わたり工業用水の供給を続けていくには、老朽化対策事業の補助対象への復元が必要である。</li> </ul>
	<p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R5.6月に(一財)日本工業用水協会を通して、工業用水道事業補助金の拡充等の要望を国の関係省庁等(総務省、経産省、国交省、自民党本部)に実施。</li> </ul>

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	—		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

( — )

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	産業構造の変化や水のリサイクル技術の向上等により、工業用水道事業を取り巻く経営環境は、一層厳しさを増している状況で、経営基盤の強化に向けては、契約水量の維持・増大を図ることが最も重要であり、需要の開拓のため、近年の社会変革・企業立地の動向を踏まえた重点分野として、再生可能エネルギー・水素エネルギー等脱炭素技術の活用に取り組む企業、サプライチェーンの再編・強化への対応を図る企業を設定し、当該企業の新規獲得に向けた営業活動を推進する。
	②	中長期計画である「北海道企業局経営戦略」の計画通り、耐震診断の結果を踏まえ、重要性や劣化度合いなどから優先度を設定し、費用の平準化を図りながら、計画的にダム放流施設の耐震補強や耐震性を有する配水管への更新等を実施する。
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備	施策コード	1001
----------------	--	--	--	-----	-----------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0301		一般	室蘭地区工業用水道事業	室蘭地区の工業用水道の管理運営	工業用水道課	0	1,035,001	0	0.00	7.00	7.0	1,089,881	①、②	改善(取組分析)	
0302		一般	苫小牧地区工業用水事業	苫小牧地区の工業用水道の管理運営	工業用水道課	0	1,941,512	0	0.00	6.00	6.0	1,988,552	①、②	改善(取組分析)	
0303		一般	石狩湾新港地域工業用水事業	石狩湾新港地域の工業用水道の管理運営	工業用水道課	0	435,092	38,978	0.00	1.00	1.0	442,932	①、②	改善(取組分析)	
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
計						0	3,411,605	38,978	0.0	14.0	14.0				